

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	川染 雅嗣
主な担当科目	合奏特別演習①,合奏特別演習②,ピアノ指導法,実技個人レッスン[ピアノⅠ①,ピアノ実技Ⅰ①,ピアノ実技Ⅰ②,ピアノ実技Ⅰ③,ピアノ実技Ⅰ④,ピアノⅠ①,ピアノⅠ③,ピアノ③,音楽芸術表現実技(ピアノ)①]
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	学生に楽譜の深い解釈の方法を教授していく。幼少の頃から楽譜を読んでいると、自分は深く楽譜を読む能力があると錯覚してしまう。挙げ句の果てにごく表面的なことしか情報として捉えていない、薄っぺらい演奏をしてしまいがちだ。そこを正していきたい。
2023年の教育に関 する自己評価	学生によっては非常に興味を持って楽譜を読む姿勢を身につけた。これは一歩前進である。しかし、中には全く興味を示さない学生もあり、学生間の温度差にいささか面食らった。だが、それが出発点と捉え、少しでも良い演奏に近づけるためにも楽譜の読み方を初歩から教授した。
2023年のFD活動 に関する自己評価	2022年度に引き続きFD委員として部会内の他の委員とも連携し、委員会と部会を繋ぐ役割を果たした。また、FD研修会の学内組織ではファシリテーターを務め、活発な意見交換が出来るような雰囲気を作成することに努めた。
授業改善のために 取り入れた研修内容	特に留学生に対する対応の仕方、また様々な家庭環境を持つ学生たちをどの様にして学修に専念させるかについて、分科会の先生方からの貴重なご意見を活用した。更に、分科会において高大連携について活発な意見交換があり、今後の課題として検討していきたい。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:70 教員名:川染 雅嗣

1)アンケート結果に対する所見

全体にこの授業に対する学生の姿勢は受け身であると考えられる。受講してみればそれなりの興味や面白みも湧いてくるのだろうが、積極的にこの授業に参加して何かを得ようという意思が希薄なのかもしれない。それは総合的満足度の図表に表れていると考えられる。ただ、特に Q8 に関しては他の科目と比較した場合、評価が低いと言わざるを得ない。オムニバス科目特有の各教員の温度差も影響しているのではないだろうか。

2)要望への対応・改善方策

学生たちの興味や関心を惹起するには視聴覚教材を駆使していくのが良い。筆者が学生であった頃の教員はほぼ板書、ないしは音源を用いるのが関の山であった。しかし、現代はそういった時代ではなく、積極的に視聴覚機器を活用する時代である。また、事前に TA や担当教員を通して、この回ではこのような内容の授業となるので、準備をしておくように、というように課題を予告しておくのも一つの方法である。それによって予習が出来、授業への関心も高まることが予測できる。質問を予め用意することも出来るのではないか。

3)今後の課題

個人的には視聴覚教材の充実を図りたい。現状はレジュメというアナログな教材を配布し、加えて音源を使用して事例を示している。それに映像を加えることで、より学生たちに興味を持たせることが出来るのではないかと考えている。音楽は音がその媒体となっているが、演奏表現には演奏者の振る舞いなども重要な要素となる。特に演奏技術を研究する際には、体の用い方や指の動かし方などが大いに参考になる。以上のような観点から、視聴覚機器の操作方法の取得にも努め、より充実した授業展開を図って行きたいと考えている。

以 上